

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公開番号】特開2012-11149(P2012-11149A)
 【公開日】平成24年1月19日(2012.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報2012-003
 【出願番号】特願2010-161060(P2010-161060)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/24 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/24

A 6 1 B 1/04 3 7 0

A 6 1 B 1/00 3 0 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月29日(2013.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

口腔内を撮影のタイミングで複数の静止画を形成記憶する画像データ形成記憶手段、前記画像データの画素情報について隣接する画素情報の差分二乗値を算出する差分二乗値算出手段、前記差分二乗値を画像データ毎に積算する積算手段、前記積算手段で得られた積算データから最大値を備えた画像データを判定してこれを最適画像データと決定する最適画像データ決定手段の組み合わせよりなる最適画像決定ユニットよりなる口腔内撮影システム。

【請求項2】

前記複数の静止画の撮影が、撮影開始の為の操作が開始した時点から自動的に行われる請求項1に記載の口腔内撮影システム。

【請求項3】

照明部材と撮影部材を組み合わせた撮影ユニットを先端に配置した手持ち把持可能な筐体、前記照明部材の照明光を反射させて、口腔内の撮影組織面を照らすと共に、照らされた組織面を前記撮影部材へ伝達する鏡面部を所定の角度で配置した反射部材、一端には前記筐体に着脱可能に装着されるための装着部が形成され、他端には前記反射部材が接続し、両端を前記反射部材だけが口腔内に入るような長さを備えて連結するものであって連結している部分以外は開放された形状を有する反射部支持部材よりなる口腔内撮影ユニットにより口腔内を撮影する請求項1及び2に記載の口腔内撮影システム。

【請求項4】

前記鏡面部が凸面で且つ湾曲した面を持つ請求項3に記載の口腔内撮影システム。

【請求項5】

前記鏡面部を介して撮影されたデータを前記鏡面部の湾曲度に応じた補正手段を更に具備してなる請求項4に記載の口腔内撮影システム。